

SHIRAKOBATO

しらこぼと



1993. 10

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 114

日本野鳥の会埼玉県支部

もういくつ寝るとバードソン

チーム責任者 登坂久雄

今年はトリ年。そこで、というわけではありませんが、久しぶりに、我が埼玉県支部から公式チームが参加します。チーム名は【リブラン埼玉レッズバードナー】。メンバーは若手??精鋭????幹事の佐久間博文、手塚正義、登坂久雄、菱沼一充の4名です。イラストを見れば、「あー、あの人探鳥会で見たことある!」という人が一人はいると思います。支援ドライバーに長谷部謙二を加え、いよいよ10月31日(日)に県内を走り回ります。応援してください。

ツルの越冬地を守る

バードソンというのは、バードマラソンの意味で、一定時間内に何種類の野鳥が確認できるかを競い、その種類数に応じて募金していただき、自然保護に役立てていこうというイベントです。日本野鳥の会が毎年開催し、今まで研究資金の充実やオオセッカ生息地の買い上げなどに多くの成果をあげています。

今年目標は、出水のツル越冬地の一部買い上げ資金を集めることです。「野鳥」誌の7月号と8月号に出水のツルのことや、野鳥の会としてのツルの保護活動についての記事がありますので、くわしくはそちらをご覧ください。

募金目標額は2,500万円。どんどん募金してツルの恩返しを期待してみたいかがでしょうか。

募金申込み受付中

募金の受付は、探鳥会でも行っています。学校や職場で募金集めをしてくださる方には、一括申込書をお送りしますので、登坂までご連絡ください。(TEL 1111)

1種につきいくら募金して下さるかということと、予想種類数をあらかじめお申し込

みください。10月31日(日)午前5時から午後5時までの12時間にチームメンバー4名が観察できた種類数×1種あたり募金額があなたの募金額になります。それをご送金願う手紙を、後ほどお送りします。

予想種類数×1種あたり募金額ではありません。観察できた種類数×1種あたり募金額です。お間違いのないように。

予想種類数のほうは、ピタリ賞が当たるかどうかという対象です。抽選で豪華な商品が当たるかもしれません。実際、私の知人のT県支部のK氏は、カールツァイスの8×20の双眼鏡を当ててしまいました。

種類数に関係なくいくら募金するという、定額の申込方法もありますが、基本的には、1種増えるごとに募金額も増えるわけですから、チームメンバーたちは、1種でも多く観察しようと、時間一杯走り続けるわけです。

当日の行動予定

支部の探鳥会の開催地を中心に、埼玉県の中央部を南から北に走り抜けます。

1 戸田市道満調整池

ここは調整池工事中なので、探鳥会は行われていませんが、「野鳥情報」ではおなじみの場所。カモ・サギ・カイツブリなど30種以上を期待。早起きに自信のある方は応援お願いします。

2 浦和市三室

支部設立当時から伝統ある定例探鳥地。越冬しているタカブシギ・タシギ、出勤途中のユリカモメ・セグロカモメなどを期待。

3 北本市石戸宿

最近定例探鳥会が開催されています。コゲラ・アカゲラなどを期待。

4 滑川町森林公園

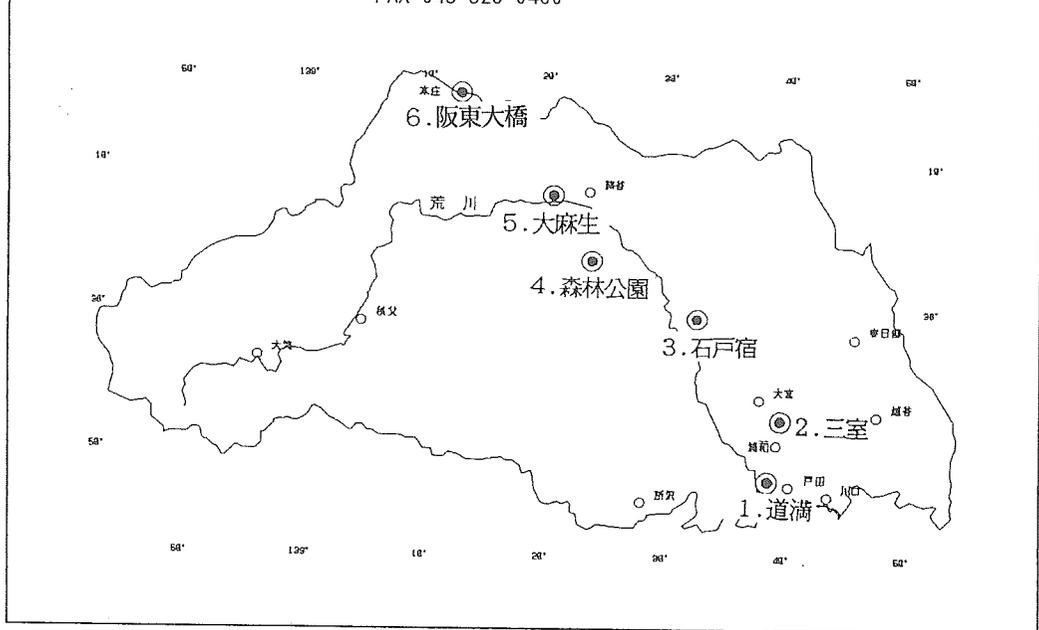
北口から入って、ビンズイ・ヒガラ・ヤマガラなど森林の鳥を探します。オシドリ・ト



(イラスト 渡辺 敦)

バードソン1993 リブラン埼玉レッズバーダー 当日スケジュール

		(サポート担当)	
1	戸田市道満 グリーンパーク駐車場	05:00 ~	駒崎
2	浦和市三室 市立郷土博物館前 (JR北浦和駅発 6:48、7:03、7:22、7:37市立病院行きバス)	07:30 ~	楠見
3	北本市石戸宿 自然観察公園駐車場	09:30 ~	吉原 岡安
4	滑川町 森林公園北口	11:00 ~	内藤 榎本
5	熊谷市 秩父鉄道大麻生駅	13:50 ~	林 森本
6	本庄市 阪東大橋南詰	15:30 ~ 17:00	町田
情報中継基地(事務局電話番) TEL 048-832-4062		08:00 ~ 17:30	笠原 黒田
			FAX 048-825-0460



モエガモなども。

5 熊谷市大麻生

こちらも古くからの定例探鳥地。今回は野鳥の森でカシラダカ、河原でイカルチドリなどを探す予定。

6 本庄市阪東大橋

トリは、やはりここ。ハヤブサ・ノスリなどの猛禽類、1~5で見落とした鳥をここでカバーする予定です。

予定は鳥の様子、道路事情などにより前後することがあります。詳細は、当日前は登坂まで、当日は情報中継基地までお問い合わせください。

最寄りの駅にリーダーの配置はありませんが、どうぞ現地に出かけて、一緒に鳥を探してください。あなたの見つけた1種がツルのために大きく役立ちます。

三目標種類数は三

探鳥会記録や野鳥情報をひっくり返した結果、県内では10月末に約100種類が記録されています。このうち、56種類は予定コースでほぼ間違いなく見られ、さらに約30種が50%くらいの確率で見られると予想し、チーム目標は70種にしました。

昨年の結果では、70種で30チーム中16位になります。総合順位は、確認種数と募金申し込み者数と募金額で決まりますので、申し込み者数と募金額で勝負!! つまり、成績はメンバーの実力というよりはむしろ支部の皆さんのサポートにかかっています。

少しでも良い成績を残すために、直前の野鳥情報も葉書またはファックスでお寄せください。事務局を情報中継基地にしてがんばりますので、ご協力よろしくお願いします。

野鳥記録委員会最新情報

●クロサギ

1993年8月1日(日)午後2時ころ、戸田市道満の荒川調節池に飛来。約1時間にわたり水辺で羽づくろいや採餌行動。海老原美夫がビデオに撮影した(右)。

クロサギは、海辺に生息しており、本部研究センターによれば、内陸に飛来した記録はない。

県内では過去に観察記録もなく、初記録。



●キマユムシクイ

1993年9月7日付け埼玉新聞によれば、同月3日川口市内のコンビニエンスストアのガラスにぶつかり保護された鳥がキマユムシクイである事を、埼玉県生態系保護協会が確認

したとの事。

日本海側の島などで渡りの途中で観察される事はあるが、同協会によると、県内では過去2回(未確認)観察記録があるだけ。これが初の確認記録となる。

地鳴きコーナー



最大級の台風が来ました。テラスは飛ばし、窓ガラスは、今にも割れそうだし、最悪な時を過ごしました。二十年生きてきて、一番これい思いをしました。鳥サン達は、どこに逃げたのでしょうか。

次の朝、いつものようにスズメが鳴いていてホッとしました。それにしても、こわかった!! 台風来るな!!

(押川 歳子・宮崎県)

AFTER BIRDWATCHINGを楽しむ

田口浩司(浦和市)

最近探鳥会に参加する人も増えてきました。参加者が多くなると、当然鳥を見られなかった不幸な人も現れてきます。そこで、十分に鳥を見ることができなかった人でも楽しめるアフターバードウォッチングのあれこれをご紹介します。

まずひとつがお弁当の時間です。何だと言われる方もいるでしょうが、みんなでワイワイ食べるお弁当はとてもおいしく、おすそ分けなどもあり、ちょっとしたパーティ気分になれるものです。そしてここで欠かせないのが、野鳥情報です。まさに「いま!」の情報を耳にすることができます。野鳥情報に胸をときめかせながらお弁当を食べるなんて、結構楽しい事だと思いませんか?

ふたつめが、お弁当の後におとずれる二次会です。有志を募り、先程聞いた情報のポイントに足を伸ばしたり、近くの穴場をたずねたりと、探鳥会とは違ったのんびりしたバードウォッチングが楽しめる、この時ならではの事です。

探鳥会でみんなと見た鳥も、ごく少人数で静かに見ると、一味違って良いものです。初心者にはおさらいになり、鳥に対する愛情も増すというものです。

最後に紹介するのが、懇親会（つまり酒宴のこと）です。これはちょっと大人向けですが、鳥を見た後の一杯もまた乙なものです。代表的なのが、毎年1月3日におこなわれているさぎ山記念公園探鳥会です。新年会を兼ねているので、ただ飲む事を目的として来る人もいるほどです。月見酒ならぬ鳥見酒といった具合です。

遠出一泊の探鳥会では、その土地ならではの美味しいお酒や肴に舌鼓を打つという、グルメ旅行の楽しみもあるわけです。最近はやりのビデオで撮影された昼間の映像を、宿のテレビで鑑賞するのも大きな楽しみのひとつです。野鳥の愛らしいしぐさをみんなで見ながら、識別の勉強をしたり、野鳥をのぞき込む私たちの姿を見て笑いあったりと、一味違った楽しみ方もあります。

これらはほんの一例に過ぎません。ちょっとしたアイデアで、新しい探鳥会の楽しみを創り出すことができます。

さ え ず り コ ー ナ ー

昆虫採集論をめぐって

星崎杉彦（浦和市）

最近、昆虫採集というテーマがこのコーナー他に登場しています（野鳥 No. 538、しらこぼと No.87、88、91）。しかし、虫好きの人の立場から書かれた、つまり昆虫採集の実状に即した文章は無かったようなので筆を取りました。はじめに、私は本会会員であり鳥キチガイですが、同時に甲虫愛好者でもあります。

今までの議論で多くを占めているのは、昆虫採集の教育的効果、殺して標本にすること、絶滅の三点に関してでしょう。特に教育的効果についてが中心のようですが、そこでは子供の採集、大人の採集、環境教育が混同されているように見えます。昆虫採集にしろ野鳥観察にしろ教育の材料としてはすでに議論されているような好影響を持つでしょう。ただし少しでも経験を積み面白さがわかった人には状況が変わってきます。鳥好きの皆さんにも自らへの「教育的効果」を目的に探鳥に出かける人はまずいないでしょう。同じ事で、たいていの虫屋も虫が好きだから虫を採りにゆくのです。今議論すべきなのは子供よりも、この大人の採集でしょう。そこで生命の貴さは云々…という議論になります。大事なことですがそのおおもとは釣りや害虫退治、ひいては鯨やマグロ問題ともつながってしまいそうなので今はしないことにします。

絶滅について虫屋の立場からは、一部の種を除いては採集による悪影響は生息環境の変化に比べてとるに足らないということにたいいてい落ち着くでしょう。ただし、その一部の種については採集を禁止した方がよい場合もあると私も思います。

最後に、なぜ虫は「採集」になるのか？図鑑やカメラ等で楽しめばよいとよく言われますが、それは一般的には難しいでしょう。なぜなら、第一に種の同定が難しいこと。採集否定論者のいう虫はたいてい蝶のことでしょうが、それ以外例えば蛾や甲虫には種数が多い上に同定（識別）の難しいものがたくさんあり、採集して標本を調べる経験を積んで同定力がつくことが多いのです。またアマチュアの標本が新種発見（日本でも）や分類学に貢献しているのも事実です。第二に、昆虫は体の小さいものが多く、野外でじっくり観察するには不向きな事もあります。標本にしてルーペや顕微鏡で細かく見ると（むろん生きているものには劣りますが）体のつくりの美しさや精巧さに息をのみます。詳しくなるほどに野外でもわかることはどんどん増えるし、さらに標本には思い出や感動も鮮烈に残ります。とにかく、ともに自然を愛する鳥屋と虫屋の呼吸が合わないのはたいへん残念なことです。せっかくの機会なので、もう少し自然との接し方について議論を深めてみませんか。



野鳥情報

カイツブリ ◇6月11日、川越市の伊佐沼でカイツブリ夫婦が水草を集めて「鳩の浮き巣」の巣作り中（中司隆由）。

サギのコロニー ◇6月12日、戸田市の荒川貯水池のカワヤナギ林でゴイサギ 211巣、コサギ56巣、ダイサギ8巣。繁殖中。抱卵中のもから子育て中のものまで様々。狭いコロニー内にひしめきあっていた（有山智樹）。

ヨシゴイ ◇5月30日、戸田市道満グリーンパークで1羽（登坂久雄）。

オオヨシゴイ ◇5月26日、浦和市秋ヶ瀬の運動公園横の沼で♀1羽（上田恵介）。

ササゴイ ◇5月16日、戸田市道満の釣り堀で2羽（駒崎政雄）。◇5月20日、本庄市の阪東大橋下流で1羽（井上幹男）。◇5月24日、戸田市の戸田橋付近の荒川で1羽（高橋達也）。◇5月31日、川越市松江町、お稲荷さんの大イチョウで今年も葉の茂みに1羽。営巣中の模様（中司隆由）。◇6月2日、北川辺町の渡良瀬遊水池で1羽（田畑孝）。

オンドリ ◇5月17日、東秩父村槻川周辺で♂♀各1羽（田口浩司）。◇5月29日、戸田市道満荒川第一調節池で♂2羽（駒崎政雄）。

ヨシガモ ◇5月29日、戸田市道満荒川第一調節池で♂♀各1羽（駒崎政雄）。

オカヨシガモ ◇5月29日、戸田市道満荒川第一調節池で♀1羽。6月27日まで確認中（駒崎政雄）。

オオタカ ◇5月26日、浦和市秋ヶ瀬で幼鳥1羽（上田恵介）。

ツミ ◇5月30日、桶川市鴨川で♂♀各1羽「キーキー」と鳴きながら巣材（青い葉）を運んでいた（立岩恒久）。

ハチクマ ◇5月17日、東秩父村槻川周辺で♂♀各1羽（田口浩司）。

クイナ ◇5月16日、越谷市の大吉調整池で1羽。下くちばしの赤が見事（山部直喜）。

オオバン ◇5月23日、戸田市道満荒川第一

調節池でヒナ6羽づれを見る。29日には、7羽になっていた。（駒崎政雄）。

トウネン ◇5月16日、戸田市道満荒川第一調節池で夏羽2羽（駒崎政雄）。

サルハマシギ ◇5月23日、和光市下新倉の荒川貯水池でほぼ夏羽の個体1羽（高橋達也、駒崎政雄、有山智樹）。

アオアシシギ ◇5月18日、本庄市の阪東大橋下流で2羽（井上幹男）。◇5月19日幸手市木立の田植えの終わった水田で約20羽（工藤洋三）。◇5月23日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽（駒崎政雄）。

キアシシギ ◇5月18日、本庄市の阪東大橋下流で30羽（井上幹男）。

ソリハシシギ ◇5月25日、本庄市の阪東大橋下流で1羽（井上幹男）。

チュウシャクシギ ◇5月23日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽（駒崎政雄）。

セイタカシギ ◇5月25日、本庄市の阪東大橋下流で1羽（井上幹男）。◇6月8日、深谷市の上武大橋下流で2羽（井上幹男）。

アカエリヒレアシシギ ◇5月18日、本庄市阪東大橋下流で50羽（井上幹男）。

ウミネコ ◇5月29日、戸田市道満荒川第一調節池で若鳥1羽（駒崎政雄）。

アジサシ ◇6月13日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽。20日には10羽（駒崎政雄）。

コアジサシ ◇5月23日、和光市下新倉の荒川貯水池で55羽。今年は護岸上に植物が繁茂したため繁殖できない様だ（高橋達也、駒崎政雄、有山智樹）。

カッコウ ◇5月20日、上尾市の大宮ゴルフコースで2羽（立岩恒久）。◇5月20日、大宮市堀崎町の自宅前の電線上で1羽（藤原真理）。◇5月22日、吹上町小谷で1羽（吉川久美子）。◇5月23日、鴻巣市人形4丁目で1羽。鳴きながら飛ぶ（岡安征也、内藤義雄・洋子）。◇5月23日、浦和市塚本で1羽（中司隆由）。◇5月23日、戸田市道満で1羽（駒崎政雄）。◇5月23日、浦和市芝原で1羽（大武昭雄）。◇5月27日、幸手市緑台で1羽（田畑孝）。◇6月6日、鶴ヶ島市上新田の自宅玄関真上の電線上で1羽。メスを呼ぶ美しい声を聞く。その5～6m先で

メスを確認する(宮内滋子)。◇6月7日、大宮市日進1丁目で1羽(森本國夫)。◇6月10日、富士見市鶴瀬西の自宅寝床の中で鳴き声を聞く(中司隆由)。◇6月10日、浦和市大間木の自宅脇の電線上で1羽(大武百合子)。◇6月11日、入間市霞川で1羽(原口郁子)。◇6月12日、吉田町の城峰山で1羽(山口輝雄)。

ツツドリ ◇5月3日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で1羽(駒崎政雄)。

ホトトギス ◇6月10日午前3時40分頃、浦和市栄和の自宅付近で鳴き声を2声聞く(渡辺喜八郎)。◇6月12日、滑川町の森林公園北口付近で1羽(登坂久雄)。

アオバズク ◇5月24日、浦和市岸町で♂♀各1羽。交尾を観察する(有山智樹)。◇5月27日、大宮市日進1丁目で1羽(森本國夫)。◇5月27日、大宮市櫛引町で1羽(森本國夫)。◇6月10日、越谷市大泊で1羽。毎年ご苦労さん(山部直喜)。

ヨタカ ◇5月26日午前3時30分頃、熊谷市の自宅に突然何かものが当る音がして、庭に出てみるとヨタカのオスで、すでに死んでいました。(中島章二)。

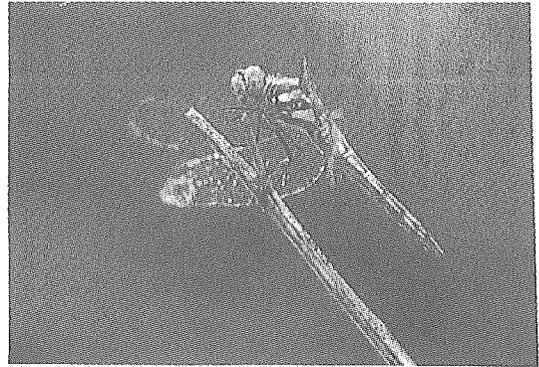
ヤマセミ ◇6月1日、深谷市の上武大橋下流で1羽(井上幹男)。

ヤツガシラ ◇5月24日、川本町で1羽(森政彦)。

ショウドウツバメ ◇5月25日、本庄市の阪東大橋下流で5羽(井上幹男)。

クロツグミ ◇5月17日、東秩父村槻川周辺で♂1羽(田口浩司)。

ココシキリ ◇5月18日、川越市の入間川、初雁橋南側のアシ原で1羽。小さな口を大きく開けて美しい声でさえずっていた(佐藤進)。◇5月24日、戸田市の戸田橋付近



アキアカネ (渡辺 敦)

の荒川河川敷で1羽(高橋達也)。◇6月1日、深谷市の上武大橋下流で1羽(井上幹男)。

メボソムシクイ ◇5月19日、浦和市秋ヶ瀬子供の森で数羽。さえずっていた(佐藤進)。

コメボソムシクイ ◇5月26日、浦和市の別所沼公園の駐車場で1羽。盛んにさえずる(有山智樹)。◇5月27日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で1羽。葉裏の虫を捕りながらよくさえずった(有山智樹)。◇5月29日、浦和市白幡2丁目で1羽(有山智樹)。◇6月4日、浦和市の白幡1丁目の睦神社で1羽(有山智樹)。◇6月7日、大宮市日進1丁目で1羽(森本國夫)。

キビタキ ◇5月10日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で2羽(佐藤進)。◇5月16日、戸田市の道満の釣り堀横の林で♂1羽(駒崎政雄)。

オオルリ ◇6月4日、浦和市辻3丁目の自宅ベランダから5~6m前の木で♂1羽。さえずる(倉林宗太郎)。

イカル ◇5月19日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で1羽(佐藤進)。

表紙の写真

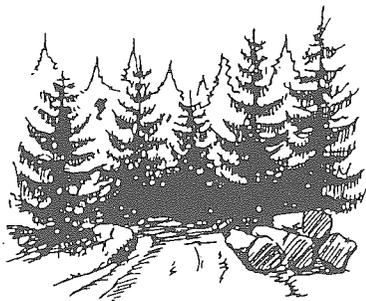
ネイチャーフォトコンテスト1992 入選作

キアシシギ (シギ科)

キアシシギは平凡なシギです。春の渡りの時は遅くまでいて、秋の渡りにははやばやとやって来て、海にも、内陸の田んぼにも普通にいて、特別な模様もなく、ただ足が黄色いだけで、実にもうつまらないやつです。

しかしまあ、ひとつだけほめるとしたら、声ですね。ピューイ、ピューイと、心にしみて響き渡ります。この秋も、たっぷりとその声にひたり、耳の底に大切にしまい込むことにします。 海老原美夫(浦和市)

行事あんない



北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：10月3日（日）

集合：午前8時30分 北本観察公園駐車場

交通：JR高崎線北本駅西口よりリーダーの指示に従ってタクシーに分乗してください（午前8時15分ごろから）。

担当：岡安、榎本、内藤、吉原、関口

見どころ：雁来紅（がんらいこう）、ハゲイトウの別名です。ツリフネソウや、ゆで蛸に似た珍しいタコノアシも見られます。渡りゆくヒヨドリの群れにメダカの学校のイメージを重ね合わせるのは私だけでしょうか。

川口市・差間探鳥会

期日：10月3日（日）

集合：9時 JR武蔵野線東浦和駅前

交通：武蔵野線北朝霞8:43→武蔵浦和8:50→南浦和8:53／南越谷8:39

解散：正午ごろ

担当：手塚、伊藤、笠原、田口

見どころ：静かな差間の里は旅の鳥たちでいっぱい。キビタキ、ツツドリ、エゾビタキ……もちろんノビタキも冬羽に着替えて待っています。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：10月10日（日・祝）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:06発または寄居9:03発に乗車。

担当：菱沼（一）、森本、関口、菱沼（洋）

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会埼玉支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

見どころ：鳥たちの渡りもいよいよ最盛期。

毎年、大麻生を訪れてくれるノビタキにも会いたい。***には、もっと会いたい！ ひそかに期待を抱いてしまおう、珍客の季節の探鳥会。

北川辺町・渡良瀬遊水池探鳥会

期日：10月11日（月・振休）

集合：午前9時10分 東武日光線柳生駅前

交通：JR東北線大宮8:12→栗橋8:41、東武日光線乗換え8:55→柳生9:05

担当：中島、松井、吉原、五十嵐、入山

見どころ：ハイロチュウヒ、チュウヒ、ツルシギ・アカアシシギ……。昨年この時期のこの場所の探鳥会の記録です。もう行きたくなつたでしょう。広い葦原と澄んだ空が待っています。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：10月17日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ）または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺、手塚、伊藤、笠原、田口

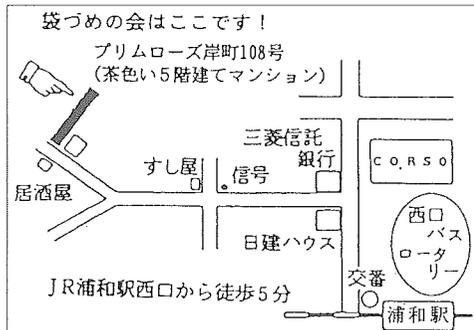
見どころ：秋晴れに稲穂が揺れ、見沼にカモやツグミ、ジョウビタキが姿を見せる季節。なんとなく気持ちも落ち着きます。のんびり気分で、里の秋をお楽しみ下さい。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：10月30日（土）午後1時～2時ごろ
会場：支部事務局（地図参照）108号室

野鳥写真クラブ定例会

とき：10月30日（土）午後2時ごろ～5時
会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ



川越市・西川越探鳥会

期日：10月24日（日）
集合：午前9時 JR川越線西川越駅前
交通：JR埼京線大宮8:34→川越8:56
担当：佐久間、長谷部、石井、三田、柳原、
小野、山本、中村（祐）、池永
見どころ：青い空の下、広い河川敷で、渡って
きたばかりのカモたちや、おなじみのカワセミ君やセキレイたちと楽しい
一日を過ごしましょう。

バードウォッチングウィーク行事

10月30日～11月7日はバードウォッチングウィーク。支部では期間中に5カ所で探鳥会を開催します。お友達や家族の方にも声をかけて、ふるってご参加ください。ベテランのリーダーが指導しますので、初めての方も、お気軽にどうぞ。

◆11月3日（水・祝）

★上尾市・丸山公園

集合：午前7時20分 丸山公園北駐車場

★大宮市・大宮市民の森

集合：午前8時10分 JR宇都宮線土呂駅東口

★富士見市・柳瀬川

集合：午前9時 東武東上線柳瀬川駅前

◆11月7日（日）

★浦和市・秋ヶ瀬

集合：午前8時 浦和駅西口バスロータリー

★吉見町・吉見百穴

集合：午前9時30分 東武バス停百穴入口前

*各探鳥会の詳細は来月号に掲載します。

奥日光探鳥会（要予約）

期日：11月13日（土）

定員に達しましたので締め切りました。たくさんのご応募ありがとうございました。参加される方には詳しい案内書を発送いたします。

伊豆沼探鳥会（要予約）

期日：12月4日（土）～12月5日（日）

集合：午前7時30分 大宮駅東口あさひ銀行前

交通：貸切りバス

費用：25,000円程（交通費、宿泊費、食事、保険料、参加費など）

定員：30名（先着順、支部会員優先）

担当：中島（康）、松井、楠見、福井、草間、桜庭

申込み：通常葉書に住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記の上、中島康夫、
.....ま
で。定員に達し次第、締め切ります。

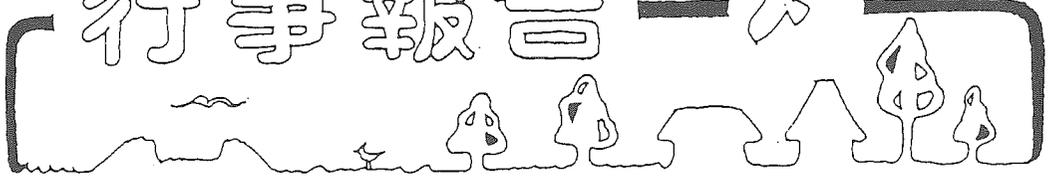
なお、参加が決まった方には詳しい案内書を送付いたします。

見どころ：夕空に浮かぶ白い月を、次々に横切っていくくガンの群れ。夜明け、まだ薄暗い沼にとどろき渡る数千の羽音。伊豆沼の鳥たちは、今年も感動をプレゼントしてくれます。

注意：宿泊先では男女別の相部屋になります。

*最近、予約制探鳥会は大人気。あっというまに満員御礼、という状況です。申し込みはくれぐれもお早めに。

行事報告



5月9日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 46人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ササゴイ コサギ カルガモ ハイタカ コジュケイ キジ コチドリ イカルチドリ シロチドリ ハマシギ イソシギ チュウシャクシギ コアジサシ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ センダイムシクイ セッカ ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) キビタキやオオルリも通過してしまい、数日前まで群れをなしていたニューナイスズメやツグミたちの姿も見えなかった。心配したが、川原ではオオヨシキリやセッカが大声で我々を歓迎。先月ついに姿を見せなかったコアジサシが求愛給飼まで披露してくれた。そのうえ、大麻生では珍しいチュウシャクシギ、先月と同じ場所のカワセミ、ハイタカに追われるハマシギの群れなどで、後半は大いに盛り上がった。大麻生の5月の記録を大幅に更新。(菱沼一充)

5月15日(土) 北川辺町 渡良瀬遊水池

参加: 29人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ トビ サシバ チョウゲンボウ キジ バン コアジサシ キジバト カッコウ アマツバメ ヒバリ ツバメ モズ ウグイス コヨシキリ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) ゴルフ場が出来、貯水池周辺も整備され、土曜、日曜ともなると相当数の人が訪れるようになったが、まだまだ多くの野鳥が観察できる。今回

は、コヨシキリがよく見られた。又、サシバ数羽がソワリングしているところも見られた。いつもシギが見られる小さな池は水が一杯で、残念ながら1羽もいなかった。(中島康夫)

5月16日(日) 本庄市 阪東大橋

参加: 37人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ キジ コチドリ イカルチドリ シロチドリ キョウジョシギ ハマシギ アオアシシギ キアシシギ イソシギ チュウシャクシギ アカエリヒレアシシギ ツバメチドリ コアジサシ キジバト アマツバメ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) 毎日、ポイントを探して「よしっ!!」スタンバイOKと安心していたら、金曜日の大雨。すべて濁流に流され、水泡に帰す。探鳥コースも水浸しで、急遽ツバメチドリの中州まで、車で移動したが、この判断が大正解。ツバメチドリは至近距離でバッチリで、予想外のアカエリヒレアシシギのご夫婦まで出現。「シギ・チ」11種の新記録。コアジサシ、オオヨシキリなどの夏鳥も十分観察。快く車に便乗させて下さったドライバーの皆様に、お礼を申し上げたい。(町田好一郎)

5月16日(日) 上尾市 丸山公園

参加: 29人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ カルガモ サシバ コジュケイ キジ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ エゾムシクイ セッ

カ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ
 スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス
 ハシブトガラス (28種) 五月晴れに恵まれて、
 緑もいっぱい。野鳥の森では、渡り途中のエ
 ゾムシクイさんがさえずり、ほとんどの人が
 姿も確認できました。荒川の牧草地では、お
 目当てのカッコウ君にはきらわれましたが、
 カワセミさんにはコバルトブルーの背中で大
 歓迎されました。 (立岩恒久)

5月16日(日) 川越市 西川越

参加: 36人 天気: 晴

カワウ ササゴイ コサギ カルガモ コジ
 ユケイ キジ コチドリ イカルチドリ イ
 ソシギ キジバト ヒバリ ツバメ イワツ
 バメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨ
 ドリ ウグイス オオヨシキリ セッカ シ
 ジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ
 ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブ
 トガラス (27種) まぶしいほどの五月晴れの
 下でヒバリが鳴けば、ヒバリに負けじとセッ
 カも高空で鳴いた。川原でシギ・チドリをじ
 っくり見たが、お目当てのカワセミ君は今回
 は見られなかった。 (佐久間博文)

5月16日(日) 浦和市 三室地区

参加: 56人 天気: 晴

ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コ
 ガモ バン コジュケイ コチドリ キアシ
 シギ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ
 イワツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ
 オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオ
 ジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナ
 ガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種)
 今年は天候不順でカッコウが鳴いてくれな
 かった。しかし、初夏の鳥“オオヨシキリ、キ
 アシシギ、コチドリ”が出現して、竹藪コー
 スのひんやりとした風と共に、参加者を喜ば
 せた。 (楠見邦博)

5月22~23日(土~日) 長野県戸隠湖高原

参加: 41人 天気: 22日雨、23日晴

カイツブリ アオサギ カルガモ ハチクマ
 トビ サシバ イヌワシ タカSP オオジ

シギ キジバト ジュウイチ カッコウ ツ
 ッドリ アマツバメ アオゲラ アカゲラ
 コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ
 ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ
 モズ ミソサザイ コマドリ コルリ マミ
 ジロ トラツグミ クロツグミ アカハラ
 ウグイス オオヨシキリ メボソムシクイ
 エゾムシクイ センダイムシクイ キクイタ
 ダキ キビタキ オオルリ コサメビタキ
 エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュ
 ウカラ ゴジュウカラ キバシリ メジロ
 ホオジロ ノジコ アオジ クロジ カワラ
 ヒワ イスカ イカル ニュウナイスズメ
 スズメ コムクドリ ムクドリ カケス ハ
 シボソガラス ハシブトガラス (62種) 一の
 鳥居でバスを降りると生憎の雨、しかし早速
 アカハラとトラツグミが全員を歓迎してくれ
 た。昼食を終える頃には雨も小降りになり、
 キビタキやクロツグミの囀りも聞こえてきた。
 別荘地ではイスカの群れが見られ、思わぬプ
 レゼントに皆大喜び! 夜は、地酒とそばで大
 いに盛り上がった。翌朝は3時に起床し、オ
 オジシギのディスプレイフライトを見に行く。
 ミズバショウの咲く森林植物園ではキビタキ、
 クロジ、マミジロなど多くの鳥たちが出迎え
 てくれた。奥社では、オオルリとイヌワシの
 姿を見ることができた。 (菱沼一充)

5月23日(日) 狭山市 入間川

参加: 24人 天気: 晴

ゴイサギ コサギ カルガモ コチドリ イ
 カルチドリ イソシギ キジバト カワセミ
 コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハク
 セキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ セッ
 カ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ
 スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス
 ハシブトガラス (24種) 声はすれども姿は見
 えぬ。じっとしているとほとんど石ころ同然
 のイカルチドリ。どこだどこだと探してみれ
 ば、何とすぐ目の前。続いてカワセミがホヴ
 ェリングから見事なダイビング。梅雨入り前
 の青空には、ツバメやイワツバメがスイスイ。
 休日は人が多く、鳥たちがおちつけないのが
 かわいそう。 (長谷部謙二)

連絡 中長

●今年も秋のパネル展を開催

タイトル “埼玉自然見て歩き”

期間 平成5年10月30日(土)～11月7日(日) 初日は正午から、最終日は午後5時まで

場所 熊谷駅ビル・アズ熊谷 4階エスカレーター横・カプセルプラザ

後援 アイリスメガネ、アズ熊谷、ニコン

内容 ネイチャーフォトコンテスト1993入選作品30点を展示。ほかに会員の撮影した最新ビデオの放映、バードウォッチンググッズの販売など。もちろん例の『埼玉見て歩き・県北版』も。土日曜と休日は、役員・リーダーらが会場でご案内します。

初日の午前10～12時は展示作業、最終日午後5～6時は撤去作業。お手伝いいただける方は、(役員リーダーに限らず、どなたでも)お集まりください。

●全国野鳥密猟問題シンポジウム

8月21日(土)～22日(日)の2日間、徳島県徳島市内の眉山会館で第1回全国野鳥密猟問題シンポジウムが開催され、埼玉県支部からは、福井恒人事業部長(県鳥獣保護員)が代表として参加しました。

WWF香港代表ディビッド・S・メルヴィル氏の講演「アジアを中心とした野鳥取引の現状」、京都支部・岐阜県支部・愛知県支部の「販売店・密猟地調査報告等とカスミ網使用の密猟状況」に関する報告などに続き、「法制度の不備と改正点」(アドバイザー磯崎博司岩手大助教授)、「密猟鳥と輸入鳥の現状と問題点」(遠藤公男宮古支部長)などの分科会に分かれて討論が続きました。

●シギ・チドリと水田の共存を考える集い

主催 日本野鳥の会栃木県支部

後援 栃木県農業協同組合中央会ほか

日時 1993年10月3日(日)午後1時～5時

場所 大平ふるさとふれあい館(栃木県大平町 TEL 0282-43-0294 東武日光線新大平下駅徒歩15分)

内容 講演「栃木県のシギ・チドリ飛来状況」などと、パネルディスカッション「シギ・チドリと水田の未来」

参加費 無料

参加申込み 栃木県支部 TEL 0286-25-4051 FAX 0286-27-7891

水田を休憩地として利用するシギ・チドリと、水田の公益的機能の重要性を考え、両者の共存への道を探ります。当日参加もOK。

●10月の土曜日当番(2時～6時)

2日 中島康夫 楠見邦博(普及部会議)

9日 工藤洋三 嶋田和江

16日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)

23日 桜庭 勇 高草木泰行(校正の日)

30日 袋づめの会(1時から)

●会員数は

9月1日現在 2,290人です

活動報告

8月7日 普及部会議。役員会議(司会・吉原俊雄、10～12月探鳥会予定;リーダー研修会・バードソン・その他)。

8月9日 三種郵便の定期監査手続き(事務局)。

8月14日 編集会議。

8月21日 9月号校正作業(石川敏男・海老原美夫・大武昭男・工藤洋三・桜庭勇)。

8月31日 あさひ銀ユニオンクレジット会員向け探鳥会打ち合わせ。

編集後記

久々の紙面登場です。最近、近所の探鳥会以外はすっかり御無沙汰していて、もっぱらカヌーに凝っています。瀬を下る緊張感や流れに任せて静かに下る解放感がいいのです。それと最近では朝寝坊したいとバードウォッチングにつき合ってくれない家族も、川遊びならOK。気の合った友人の一家と川原でテーブルを囲んで、よもやま話をしながら1日のんびり過ごすのもいいものです。もちろん鳥も楽しめます。(森本國夫)

『しらこぼと』1993年10月号(第114号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 東京9-121130
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

再生紙使用